



松風台自治会

防災会だより

第56号 発行 2020.03.01

発行責任者

防災副会長 行正龍昭

目次

- 1. 2019 年度防災会活動まとめ -1-
- 2. 自治会員全員参加の防災活動 -2-
 - 2.1 移動式ホースによる消火訓練
 - 2.2 大地震時安否確認訓練
 - 2.3 湘北地区防災訓練
 - 2.4『火の用心』巡回
- 3. 近年の自然大災害を踏まえて。 -4-

1. 2019 年度防災会活動まとめ

今年度も防災会規則に定められた4つの事業は、年度当初に立案した計画を全て予定通り実施しました。

1. 防災についての知識の普及
2. 防災訓練の実施
3. 防災用資材、機材の維持管理
4. その他、必要と認められること

詳細は、定期総会議案書を参照ください。そのうち重点事項として進めた2件につき下記に進捗状況を報告します。

1.1 大地震時発生時の防災行動指針の見直し改訂

昨年度から防災訓練において「白いタオル運動」を実施して、その結果かなり周知されてきました。しかし、本当に大地震が発生した場合には訓練した通りの行動ができる体制には まだなっていませんでした。



例えば、
 ・どんな場合に白いタオルを表示するのですか？
 ・要支援者を含めた安否確認シートが常備されていない。
 これらの改善を含めて実践的な【防災行動指針】に改訂して全戸配布しました。来年度からは、この指針に基づいて、より有効な防災訓練を継続したく、自治会員の協力を引き続きよろしくお願いいたします。

1.2 大災害情報通信途絶時の近隣自治会との無線連絡方法拡充

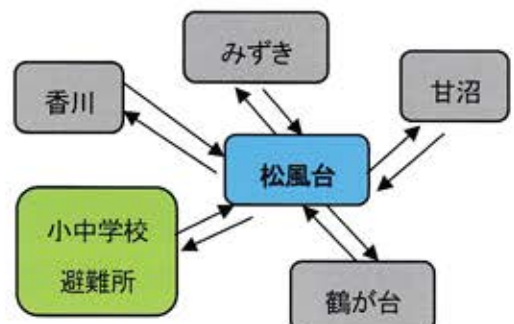
大災害が発生すると最悪の場合、情報連絡方法(固定電話、スマホなど)が途絶してしまいます。そのために9年前からアナログ業務用無線機を配備して3公園間などで訓練に使用してきました。しかし、
 ・電波法の改正によりアナログ無線機は使用できなくなる。
 ・周辺自治会の機種と互換性がなく相互通信できない。



デジタル無線機 VXD20

この為に、デジタル無線機4台に更新しました。

- ・大災害発生直後は、松風台内で3公園と自治会館相互間の情報連絡に使用し、
- ・救護・避難活動が長期にわたる場合は、近隣自治会や避難所相互間の連絡に使用できるよう、来年度は相互通信の訓練を実施します。



2.自治会員全員参加の防災活動

2.1 移動式ホースによる消火訓練 2019年9月14日(土) 13:30~15:00 東公園前路上

参加者 37名 指導者 茅ヶ崎市防災対策課/第16消防分団

消防車は、大災害時には来てくれません。従って、
私たち自らが消火作業しなければなりません。

第1ステップ ⇒ 第2ステップ ⇒ 第3ステップ
 (直ちに) (手におえない) (断水したら)
 消火器で消す 移動式ホースで消す 消防ポンプで消す



訓練説明する中島消火救出隊長



火災現場に近い道路上にある
消火栓に消防ホースをつなぎ火
元まで延長する



消火栓から火元までは、多くの
曲がり角があり、手信号で放水
始め、止めの合図を伝達する



筒先から放水し消火する。
各防災倉庫に長さ20mホース
4本を備えた移動台車5台を
配備している。

2.2 大地震時安否確認訓練 2019年10月20日(日) 13:00~15:00 南公園

昨年に続き565戸全員を対象に、全ての自治会班長が自分で所管する全戸を訪
問して安否を確認する訓練を実施しました。

- ①震度6弱の大地震発生時の合図とともに ⇒ ②防災会員は、南公園に集結
自治会員は、自身と家族の安全を確認 して災害対策本部を設営
して、門扉に白いタオルを表示



班長が巡回したとき、我が家は無事
であることが容易に判るように表示



防災会員は、自宅で合図を聞き、公園に駆け
付けて約30分で本部テントなど設営を完了した

- ③自治会班長は、班内の安否確認 ⇒ ④安否確認結果まとめ
結果を本部に次々と報告 地震発生時の合図から1時間50分後に全世帯の確認完了



白いタオルの表示がない宅は、訪問して
確認した結果も含めて班長が報告中

白いタオル	安否確認の結果	世帯数
表示あり	安全を確認できました	364戸 64%
表示なし	在宅だが表示忘れ	124戸 22%
訪問結果	不在で外出の様子	77戸 14%

この訓練結果を踏まえ、本当に大地震発生時
の行動指針を具体化しました ⇒表紙参照

2.3 湘北地区防災訓練 2019年11月4日(月) 12:00~15:00 香川小学校校庭

今年度も湘北地区7自治会が合同で実施しました。松風台から42名が参加して、参加者全員が交代で3つの基本的な訓練を習得した。更に、起震車で震度7の揺れや、煙に巻かれて地震・火事に被災した恐ろしさを体験した。なお、松風台の防災リーダーは消防団員と一緒に消火器取扱いの指導を担当した。



南公園から会場までの移動は、山本副避難移送隊長の引率でした



①防火の基本は、小中学生の頃から消火器の取扱いに慣れけることが大切です



②けが人の搬送方法は、その場に応じて様々な方法から選ぶ必要があります



③避難生活になくなくてはならない最も必要な仮設トイレの設置は各家庭でも言えることです

2.4 『火の用心』巡回 年末・年始延べ5日間 19:00~20:00 松風台巡回



2014年度から開始されたこの行事には、年々子どもを含む家族連れが増えてきました。『火の用心』の声を聴いて放火予防や、防犯効果にも期待できそうです。

特に、今年度はうれしいことに毎年参加してもらっている山田榎々美さんが、茅ヶ崎市主催の防火ポスター・作文

コンクールに応募し令和元年度の防火作文・小学校の部に最高位で唯一の市長賞を受賞されました。参加して身をもって体験されたことが誠実に表現されていました。これからも松風台の様々な担い手になって活躍して頂きたいと思っております。

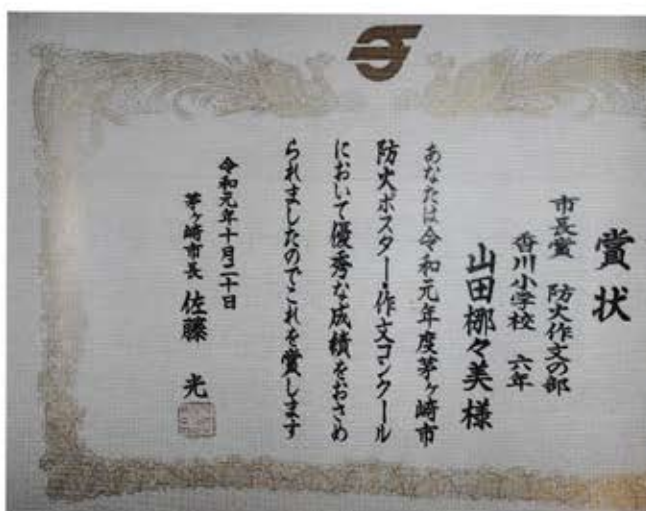
『火事をなくすために私たちができること』

香川小学校 6年 山田榎々美

私が「防火作文」を書いた理由は、毎年冬に火災予防で町内の火の用心に参加しているので、火災予防について興味があったからです。なので、私にとって火災予防はみぢかな存在です。

…(中略 全文で880文字)…

実際自分が火の用心を行ってからは火事のおそろしさや火事にならないための予防、他人にも火の用心をすすめるなど自分の考えが変わり、行動に移すことが出来るようになったと思います。これからも火災予防に積きよく的に関わっていきたいと思います。



3.近年の自然大災害を踏まえて

近年は台風・豪雨による甚大な自然災害が日本全国に発生しており、最近3年間で記憶に残るものは



近年の主な自然大災害

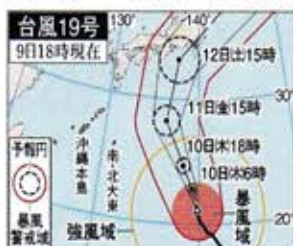
表・イラストは関係機関のホームページに基づく情報により編集

年月/災害名	特徴	主な被災状況 2020/1月現在
2017/7 九州北部豪雨	梅雨前線による集中豪雨で河川氾濫、土砂崩れ	家屋全半壊 1,432 棟、 死者 40 名
2018/7 西日本豪雨	台風と梅雨前線による記録的大雨で河川氾濫、土砂崩れ	家屋全半壊 18 千棟、 死者 263 名
2019/09.09 台風 15 号	千葉で最大瞬間風速 57m/秒により鉄塔・電柱が多数倒壊	千葉では最多約 80 万戸が最長 1ヶ月程度 停電・断水 3つの台風による総被害は、 住宅被害 約 17 万棟 死者・行方不明者 109 名 何れも「激甚災害」に指定
2019/10.12 *台風 19 号	東日本 12 都県に大雨特別警報豪雨による河川決壊、土砂崩れ	
2019/10.25 台風 21 号	また千葉で、記録的な大雨による河川氾濫、土砂崩れ	

* 台風 19 号のときは、松風台の周辺で避難勧告や避難指示が発令され、茅ヶ崎市内 38 個所に避難所が開設され約 8 千名がそこに一時避難した。

これら自然大災害の教え

①近年の気象情報は数日前から正確です



台風 19 号は 3 日前に左記の通り予報され、日時、暴風域はほぼその通りでした。

自宅避難に欠かせない一人一人の必需品の備えを

台風は 3 日前に準備しても間に合います。しかし、いつ発生するか判らない大地震に備えて自宅で 7 日間一人で過ごせる必需品備えの見直しをお願いします。

②松風台が直接 被害を受けなくても



千葉県のように広域にわたり長期間の停電・断水やガス停になる



③避難行動要支援者の支援も

要支援
(要支援度1・2)

要介護
(要介護度1~5)



松風台には大災害時に、助けを求めている方々が数 10 名もおられます。いざという時には、所属の自治会班長に安否確認をお願いしていますが、平和な日頃から隣近所の方々にも声掛けなど顔なじみになるようお願いします。

— 以上 —